

企業OBらで組織するNPO法人・地域産業支援ネットワークセンター(事務局大垣市、田中興一理事長)は大垣商工会議所と共催で、地元中小企業の人材育成などをねらいとした「事業運営に役立つセミナー」をスタートした。(大垣)

「5S」の知識やPC管理伝授

同センターは、企業や行政の役職者や技術者などOBが中心となつて2006年に設立したビジネス支援型NPO法人。異業種交流会をはじめ経験豊富な専門スタッフによる巡回訪問や個別支援、産学連携事業のコーディネート、技術系人材育成プログラムの開発、各種人材育成セミナーなどを開催している。

本年度から「大垣市ががやき市民手づくり協働事業」に参画、大垣商工会議所と連携し「事業運営に役立つセミナー」を新規事業として実施する

地域産業支援ネットワーク

大垣商工会議所と共催でセミナー



「5Sの基礎知識と継続して定着する方法」をテーマに開催した人材育成セミナー

ことにした。

地方創生が課題とされ、市中で「中小企業が元気になれば必ず地域経済は

1回目をこのほど大垣市奥の細道むすびの地記念館で開催、中小企業の管理職や若手社員ら36人

活性化する」(田中理事長)として、中小企業向けに業務改革や経営管理、人材育成など、より実践的な無料セミナーを企画。今月から来月3月まで毎月2回ペースで計10回にわたって開催する。

が参加した。1回目と2回目は「5Sの基礎知識と継続して定着する方法」と題して、業務改善コンサルタントを手がけるユニオン電子工業の伊藤哲氏が講師となり5Sの実践手法を伝授する。

3回目以降は「パソコンや携帯の安全管理」や「金融機関の付き合い方と助成金の上手な利用方法」「経営に役立つ原価管理」などをテーマに、それぞれの専門スタッフが講義する。

また、セミナー終了後には個別相談や訪問指導などで参加企業のフォローアップも行うことになっている。